

令和元年度 第1回健康づくり推進協議会 議事録概要

日 時：令和2年2月7日（金）午後1時30分～午後3時20分

場 所：牛久市地域医療連携センター

出席者：委員：21名中14名出席

委員名	出欠	委員名	出欠	委員名	出欠
桜井 健司	欠	河村 智教	出	宮本 克樹	出
井上 康一	欠	大内 博美	欠	寺田 みえ子	出
橋場 成忠	出	井出 文彦	出	磯山 和男	出
五十嵐 有希子	出	木ノ上 亀久	欠	岡見 清	出
永山 静子	出	明石 眞言*	出	染谷 郁夫	欠
岩井 浩一	出	加納 尚美	欠	古渡 章三	出
石川 次枝	欠	飯塚 幸雄	出	佐藤 幸子	出

*代理出席：竜ヶ崎保健所健康増進課長 中村悟

事務局：保健福祉部長 藤田幸男、保健福祉部次長兼健康づくり推進課長 内藤雪枝
健康づくり推進課職員 飯泉麻由美・山越和子・三浦聡子
医療年金課職員 古谷恵里

協議会内容：

1. 開会の言葉（司会：内藤次長）
2. あいさつ（保健福祉部 藤田部長）
3. 委員長等選出（委員長：岩井浩一委員 副委員長：宮本克樹委員・飯塚幸雄委員）
4. 議事録署名人の指名・・・永山静子委員、古渡章三委員
5. 議事（議長：岩井浩一委員長 副議長：宮本克樹副委員長・飯塚幸雄副委員長）

（1）報告事項

- ①牛久市の概況について
- ②牛久市国民健康保険の医療及び健診の状況について
- ③健康づくり関連事業状況調査 各行動目標、区分別の事業数について
- ④ 健康チャレンジ実施報告

委員からのご意見

報告①牛久市の概況について

- ・健康余命のデータと「健康である」と感じている市民が多いことより、健康施策の実施の成果であると感じた。
- ・市民の年齢構成別人口の推移では、牛久市民の高齢化が明らかである。しかし、将来予測では、生産年齢人口と年少人口も増加傾向になっている。その根拠は何か。
資料は牛久市人口ビジョン(平成28年2月)より出された推計値を計上している。根拠を確認したうえで後日、回答をする。
- ・標準化死亡比では、自殺・糖尿病が増加傾向にある。何らかの施策が必要ではないか。

- ・牛久市の平均寿命が長い要因は何か。

☐医療機関の充実、市民の健康に関する意識が高い、地域での自主的な健康づくり活動の定着が主な要因として考えられる。

- ・高齢化率と介護認定率について、現在は率を指標として用いているが、将来的には介護認定者数の減少を目標に設定しても良いのではないかと感じている。

報告②牛久市国民健康保険の医療及び健診の状況について

- ・牛久市は歯科の医療費が多いのは、市民の歯の状態が悪いのか、それとも、歯科保健に対する意識が高いためなのか。

☐（歯科診療の現場より）定期的に来る方が多いので、個人的には、市民の歯科保健に関する意識が高い現れではないかと感じている。

報告③健康づくり関連事業状況調査 各行動目標、区分別の事業数について

- ・「いばらき元気ウオークの日」を毎月第一日曜日実施している。認知度が増すとともに参加者数も増加している。市民に、健康づくりに前向きに取り組む動きが広がっているように感じる。

- ・行政区で市の元気教室を開催した。関連事業のどの項目に分類されるのか。また、教室実施の目標設定と進捗管理はどのようになっているのか。

☐健康づくり関連事業「賢く予防・適正受診」に分類される。教室への参加率と実施行政区数を目標値に設定し進捗管理を行っている。次回会議より、目標値、進捗に関する資料を追加し説明していきたい。

報告④ 健康チャレンジ実施報告について

- ・健康チャレンジに参加する方はもともと健康意識の高い方であるので、本当にチャレンジしてほしいターゲットとずれがあるのではないかと感じている。

☐チャレンジすることでプレゼントがもらえる、何か良いことがあるといった事を励みに健康に対し関心が低い方にも参加してもらうことがこの取り組みの大きな目的である。

- ・健康チャレンジに参加したことで、何かが改善したというようなメリットを市民に公表すると良いのではないかと感じている。市内協力店舗を巻き込んで街の活性化にもつながるし良いことであると感じた。

(2) 審議事項

「うしく健康プラン21」健康実態調査（案）について

審議内容

- ・（事務局より）調査対象者を20歳以上の市民、無作為抽出で3,000人としている。成人年齢や選挙年齢が18歳となるが、対象年齢を引き下げた方がよいか

☐委員より 15歳以上、18歳以上の2つの意見あり。年齢引き下げに伴い、タバコの設問など内容を見直す必要がある。

審議結果

- ・18歳以上を対象者とする。
- ・設問内容については、事務局と委員長で再度整理し、各委員に確認承認を得る。

6. 閉会